

委員会視察成果報告書

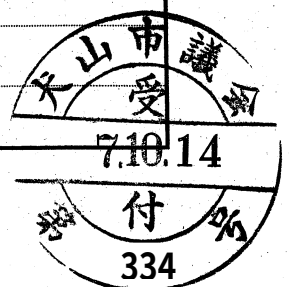
7 年 10 月 14 日

犬山市議会議長

議員名 久世尚裕

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	7 年 9 月 30 日(火) ~ 年 月 日() (泊 日)
(2) 視 察 地	半田市立小中学校 中学校
(3) 視察の種類	(常任)・特別 委員会 (民生委員会)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	別 紙
(5) 犬 山 市 に 対する提言	



半田市視察報告書

久世高裕

視察日：令和7年9月30日

視察先：愛知県半田市立小学校・中学校体育館

視察目的：体育館空調設備（冷房機器）導入事例の調査

1. 視察内容

半田市では、市内の小中学校体育館において新たなタイプの空調機器を導入している。従来の天吊り型や壁掛け型エアコンではなく、いわゆる「バズーカ型」と呼ばれる大型吹出口を備えた可搬型の空調機を採用している。

この機器は、見た目はスポットクーラーに似るが、独立した室外機を持つ点で一般的なスポットクーラーよりも性能が高い。配管距離が短く、設置工事が比較的容易であることも特徴である。

体育館の観覧席部分に複数台を並べて設置し、外部に室外機を設ける構成となっている。最大規模の学校では9台を設置し、設置費用は約3,500万円。実際の稼働状況では、稼働後10分ほどで「涼しくなってきた」と体感できる効果があり、空調性能は十分と判断された。

ただし、風量が強いため、バドミントンなどの競技種目では風の影響を受ける場合がある。そのため、冷却後は出力を下げて運転するなどの工夫が行われている。

費用面では、国の特例交付金の対象となり、簡易な断熱工事を実施していれば約2,000万円の補助を受けられる。このため、市の実質負担は約1,500万円程度に抑えられている。電気代は最大規模の体育館で月額約10万円程度とのことで、ランニングコストも現実的な範囲である。

委員会として現地で体感した結果、コスト・性能の両面で十分実用的であると感じた。

2. 犬山市への提言

1. 体育館空調整備の早期実現を

半田市の導入事例は、設置工事の容易さ・コスト効率・冷房効果のいずれにおいても優れており、犬山市の学校体育館にも適用可能性が高い。特に猛暑時期の避難所機能や児童生徒の熱中症対策を考慮すると、早期整備が望ましい。

2. 補助金制度の積極的活用

国の特例交付金を活用すれば、市の実質負担を抑えつつ整備が可能である。断熱改修を同時に行うことで補助対象となるため、計画段階から制度要件を踏まえた設計が重要である。

3. 機種選定における検証の継続

半田市で採用された機種は実績が確認されているが、犬山市の体育館規模や使用頻度、競技内容に応じた最適機種を選定する必要がある。他市の導入事例も含めて複数機種を比較検証することが望ましい。

4. 令和7年度中の導入目標設定

市長も前向きな姿勢を示しており、令和7年度中の導入を目指すスケジュールを明確化することで、次夏の稼働を視野に入れた実行計画を策定することを提案する。